RICOH

imagio MP W4001シリーズ

使用説明書
〈保守/仕様〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

7. お問い合わせ

8. 付録

1. 守ってほしいこと

本機を使用するときに、守ってほしい項目です。

使用上のお願い

⚠警告

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★重要

- 画面のメモリー残量が 100%であることを確認し、主電源スイッチを切ったうえで、電源プラグを抜いてください。『本機のご利用にあたって』「主電源の切りかた」を参照してください。
- 連続して原稿を読み取ると、原稿ガラス表面が熱いと感じることがありますが、異常ではありません。
- 通風孔などでは排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、2 時間以上放置して環境になじませてから使用してください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- 動作中に各部のカバーや給紙トレイを開けないでください。用紙がつまることがあります。

- 電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。
- 動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。
- 本体の設置場所の温度や湿度の状態によっては、印刷時に用紙から水蒸気が発生し、操作部奥の通風孔で湯気になって見えることがあります。
- 温度の変化により機械内部に水滴が生じると適正な印刷品質が得られないことがあります。このような不具合を低減するために、結露防止ヒーターを使用してください。
- 除湿ヒーターと結露防止ヒーターは、機械の内部を暖めることにより湿度を適正な状態にしています。このため除湿ヒーターや結露防止ヒーターを「On」にしていると、主電源スイッチを「⏻（Stand by）」にしたあとも、機械本体はやや温かい状態を保ちます。

換気について

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m^3 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1ppm、0.2mg/m^3 を上回ることはありません。

新品時の臭いについて

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

印刷物の取り扱い

- 印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。
- 印刷物と生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物を折り曲げると、折った部分のトナーがはがれることがあります。
- 塩化ビニール製のマットに印刷物を挟んだまま、温度の高いところに長時間放置すると、トナーが溶けることがあります。
- 暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところに印刷物を放置すると、トナーが溶けることがあります。

ハードディスクのデータのバックアップを取る

ハードディスクには、お客様が蓄積した画像やアドレス帳などのデータが格納されます。これらのデータをバックアップまたはダウンロードする方法について説明します。

重要

- **万一、本機のハードディスクに不具合が発生すると、蓄積した画像やアドレス帳のデータが消失することがあります。ハードディスクに重要なデータを保存するときは、必ずバックアップまたはダウンロードすることをお勧めします。また、フォントやフォームなどのリソースデータをハードディスクにダウンロードできますが、ハードディスクの故障に備え、ダウンロードしたデータはお客様自身で保管しておく必要があります。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

補足

- Ridoc IO Analyzer、または Web Image Monitor でアドレス帳のバックアップを取ることができます。Ridoc IO Analyzer については、Ridoc IO Analyzer の取扱説明書を参照してください。Web Image Monitor の操作方法については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Web Image Monitor を使用して、ドキュメントボックスのデータをパソコンにダウンロードできます。ドキュメントボックスの画像データをダウンロードする方法については、『コピー/ドキュメントボックス』「蓄積した文書を Web Image Monitor でダウンロードする」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

2. 消耗品の補給と交換

トナーやステープラー針を交換するときに注意してほしいことや、済スタンプの交換方法を説明します。

トナーを補給する

トナーを補給するときに注意してほしいこと、トナーがなくなったときの送信、使用済みトナーの廃棄のしかたを説明します。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠警告

- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

⚠警告

- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
    - 本製品に使用しているポリ袋・手袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

重要

- 操作部にトナーの交換を促すメッセージが表示されてから、トナーを交換してください。
- 異なるタイプのトナーを使用すると、故障の原因になります。
- トナーを補給するときは電源を切らないでください。トナーを補給するときに電源を切ると、設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。

- **トナーは、高温多湿、および直射日光をさけて 35℃以下の環境を目安に保管してください。**
- **トナーは平らなところに置いてください。**
- **トナーカートリッジを取り外したあと、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。**
- **トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れることがあります。**
- **赤トナーを補給するときは電源を切らないでください。トナー補給の画面が消えなくなることがあります。**
- **赤現像ユニットを取り外すとき、取り付けるときは、赤現像ユニットを傾けないでください。トナーが漏れることがあります。**

トナーを補給するときは、操作部に表示される手順に従ってください。

補足

- 「トナーがもうすぐなくなります。」が表示されると、もうすぐトナーがなくなります。交換用のトナーを用意してください。
- 「トナーがもうすぐなくなります。」と「トナーを補給してください。」が交互に表示されてから、黒トナーは約 50 枚、赤トナーは約 20 枚印刷できますが、かすれて印刷されることがありますので早めに交換してください。
- 「トナー補給」の画面では、交換に必要なトナー名称と交換手順が確認できます。
- ［状態確認］キーを押すと消耗品発注先の電話番号が確認できます。P.30「問い合わせ情報」を参照してください。
- 黒トナーについて
    - トナー残量が多いにもかかわらずが表示されるときは、画面に表示されるトナー交換手順にしたがって一旦トナーカートリッジを引き出したあと、そのまま再セットしてください。
    - 黒トナーがなくなると画面に「トナー補給」が表示され印刷できません。
    - 黒トナーのカートリッジを振るときは、キャップを外さないでください。キャップを外して振ると、トナーが飛び散ります。
    - 黒トナーのカートリッジについている中ぶたは外さないでください。
    - 黒トナーを補給するときは、トナーカートリッジを乗せていない状態でホルダーを押し込まないでください。ホルダーが破損することがあります。
    - 黒トナーを補給するとき、ホルダーの取っ手が固くて元の位置に戻せない場合は、ホルダーをもう一度引き出し、トナーカートリッジを約 90 度回してください。
- 赤トナーについて
    - 赤トナーがなくなっても、黒色で印刷できます。ただし、赤色または 2 色では印刷できません。

- 赤色で印刷するときでも黒トナーを使用します。黒トナーがなくなると、赤色で印刷できません。
- 赤現像ローラーには触れないでください。きれいに印刷できないことがあります。

トナーがなくなったときの送信

本機はトナーがなくなりが表示されているときも、ファクス機能やスキャナー機能でデータを送信できます。

重要

- **トナーがない状態で通信した数と、自動で出力される通信管理レポートに記載されていない通信の数の合計が 200 通信を超えると、通信ができなくなります。トナーは早めに補給してください。**

1. ファクスまたはスキャナーの画面が表示されていることを確認します。

2. [確認] を押して、送信の操作をします。

エラー画面が消えます。

補足

- メモリー送信の操作をしても、送信の操作をしたときに出力されるレポートは出力できません。

使用済みトナーを廃棄する

トナーの再利用はできません。

使用済みトナー容器を廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したトナー容器は、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収･リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理されるときは、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

ステープラーの針を補充する

⚠注意

- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

2

重要

- **カートリッジは当社製品を使用してください。異なるタイプのカートリッジを使用すると、ステープルされなかったり、針づまりの原因になります。指定のカートリッジを使用してください。詳しくは、****P.63「消耗品一覧」を参照してください。**

ステープラーの針を補充するときは、操作部に表示される手順に従ってください。

補足

- カートリッジの両端を押さえても上部ユニットが引き上がらないときは、カートリッジの針がまだ残っています。針を補給しないでそのまま使用してください。

済スタンプを交換する

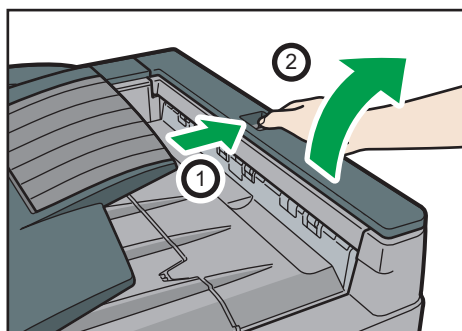
済スタンプが薄くなってきたらカートリッジを交換します。

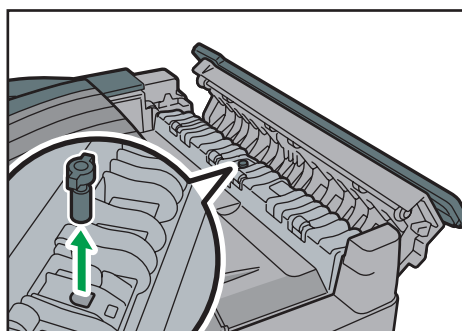
済スタンプはファクス機能とスキャナー機能で使用できます。

重要

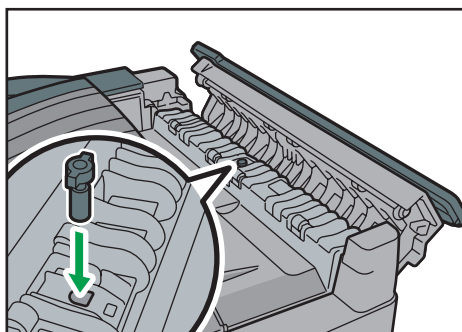
2

- カートリッジは本機専用の「リファクススタンプカートリッジ タイプ 1」を使用してください。
- インクの継ぎ足しはしないでください。インクが漏れることがあります。
- カートリッジ交換時に、インクで手が汚れることがあります。

1. 自動原稿送り装置（ADF）の右カバーを開きます。

CRE001

2. 使用済みカートリッジを取り外します。

CRE002

3. 新しいカートリッジをセットします。

カートリッジは金属部が隠れるまで差し込みます。

CRE003

4. 自動原稿送り装置（ADF）の右カバーを閉めます。

3. 本機の設置と移動

設置、移動するときの注意事項を説明します。

本機を移動させる

移動するときの注意事項を説明します。

⚠注意

- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。

★重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 移動距離が大きいときや別の建物に移動するときは販売実施店に、別の階に移動するときはサービス実施店に連絡してください。なお、この作業は有料です。

フロア内を移動させる

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 機械を移動するときは、操作部を持たないでください。故障の原因になったり、操作部が破損して、けがをすることがあります。

重要

- 次のことに注意し、移動してください。
    - 主電源スイッチを「⏻（Stand by）」にしてください。『本機のご利用にあたって』「主電源の切りかた」を参照してください。
    - 前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
    - 水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないでください。故障の原因になったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失したりすることがあります。
    - フィニッシャーなどのオプションが装着されたまま本機を移動するときは、サービス実施店に連絡してください。
    - @Remote を利用しているときは、イーサネットケーブルを抜いてから移動してください。@Remote のアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

移動後の設置条件

設置場所の条件

⚠警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動したときは、キャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

⚠注意

- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因になります。

⚠注意

- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

次のような場所への移動は避けてください。不適切な場所へ移動すると正常にコピーができなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所

  使用できる環境の範囲は次のとおりです。

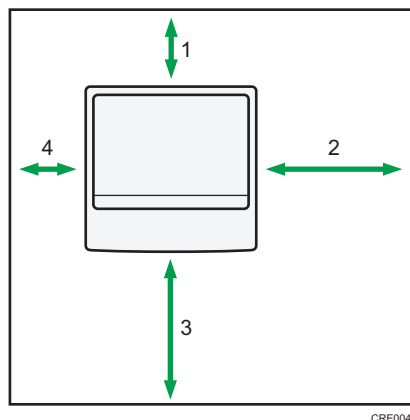
  - 温度：10～30℃

- 湿度：15〜90%
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具、冷房器具、加湿器に近い場所
- 振動の激しい場所
- 換気の悪い場所
- ほこりの多い場所
- 石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器（ジアゾコピー機など）の近く
- 床や台が不安定な場所
    - 水平な場所に設置してください。前後、左右共、高さの差が 5mm 以下になるようにしてください。
    - しっかりした床の上に設置してください。台の上に設置するときは、機械の大きさよりも面積の広い、専用のテーブルのようなしっかりとしたものを選んでください。

超音波加湿器をご使用の方へ

超音波加湿器に水道水や井戸水をご使用になると、水の中の不純物が白い粉となり、複写機の内部に付着して印刷紙やコピーの汚れの原因になります。特に長時間連続して加湿器をお使いになる場合は、加湿器用純水器のご使用をお勧めします。

設置に必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。コピーの操作をするときやカスタマーエンジニアが作業をするときなどに必要です。

1. 奥行き：
    - 原稿カバーを取り付けたとき：5cm 以上
    - 自動原稿送り装置（ADF）を取り付けたとき：10cm 以上
2. 右：60cm 以上

3. 手前：70cm 以上
4. 左：5cm 以上

補足

- オプションを装着したときのスペースについてはカスタマーエンジニアに確認してください。

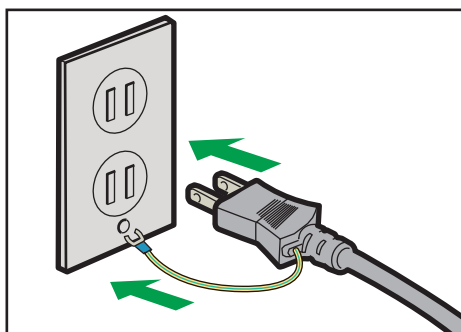
アース線を接続する

⚠警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

1. **主電源スイッチが「⏻（Stand by）」になっていることを確認します。**
2. **アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。**

電源についての注意事項

⚠**警告**

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠**警告**

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

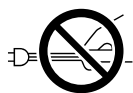
⚠警告

- 電源コードは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意

- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- 使用電源

  電源コードは、100V、15A 以上、50/60Hz のコンセントに接続してください。
- 電源プラグは電源コンセントに直接、しっかりと接続してください。
- 他の機器とはブレーカーが独立している電源に接続してください。
- 電源プラグを抜くと、結露防止ヒーター、除湿ヒーターが切れます。

4. 本機を清掃する

本機の清掃のしかたを説明します。

清掃のしかた

原稿ガラス、原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）が汚れていると、きれいにコピーできないことがあります。汚れたら清掃してください。

⚠注意

- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

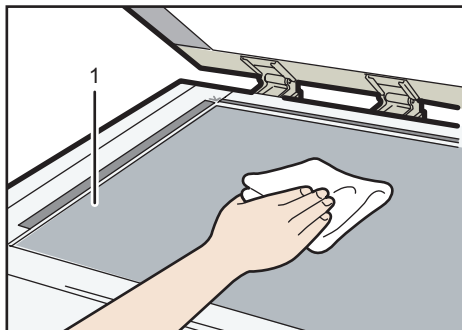
重要

- **クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。**
- **機械内部など、本書で説明している部分以外の清掃はカスタマーエンジニアに依頼してください。**

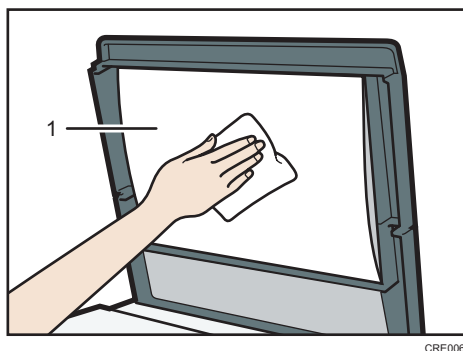
お手入れの方法

やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。原稿ガラスは、付属の清掃クロスで拭きます。

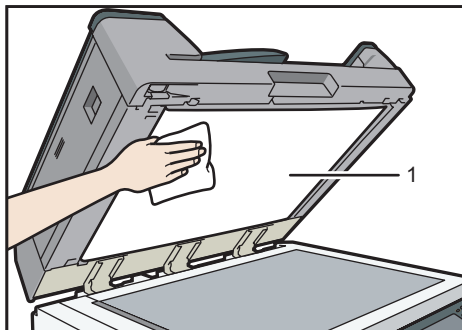
原稿ガラスの清掃

1. 原稿ガラスを拭きます。

1. 原稿ガラス

原稿カバーの清掃

1. 原稿カバーのシートを拭きます。

1. シート

自動原稿送り装置（ADF）の清掃

1. 自動原稿送り装置（ADF）のシートを拭きます。

1. シート

電源プラグの清掃

⚠警告

- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源プラグに焦げ跡がある
    - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードは年 1 回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
    - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
    - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
    - 電源コードの一部が熱くなる
    - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

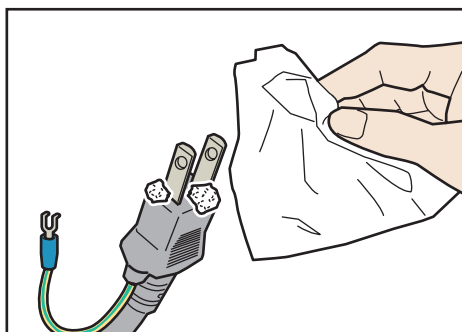
- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

★重要

- **電源プラグを抜くときは、主電源スイッチを「⏻（Stand by）」にしてください。『本機のご利用にあたって』「主電源の切りかた」を参照してください。**
- **主電源スイッチを「⏻（Stand by）」にしたまま約 1 時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されます。**

お手入れの方法

乾いた布で、ほこりを取り除きます。

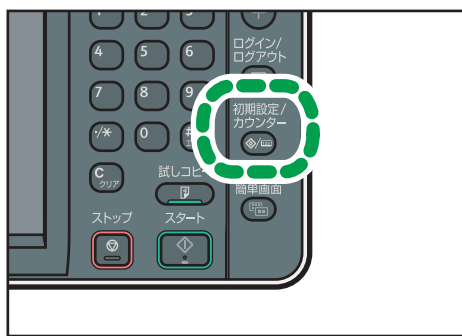
4

5. 便利な情報

カウンターを表示したり、機械の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認したりする方法を説明します。

カウンター

各機能で使用した枚数の合計をカウンター表示します。

カウンターの一覧を印刷することもできます。

1. [初期設定/カウンター] キーを押します。

2. [カウンター] を押します。
3. カウンター一覧を印刷するときは、[カウンター一覧印刷] を押します。
4. [スタート] キーを押します。
5. [初期設定/カウンター] キーを押します。

補足

- 使用している機種によって、表示されるカウンターの種類が異なります。

問い合わせ情報

機械の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認できます。

初期設定から問い合わせ情報を確認する

確認できる項目は次のとおりです。

消耗品

- 発注先電話番号
- トナー名称
- ステープル名称
- ステープル名称（中とじ）
- 済スタンプ名称

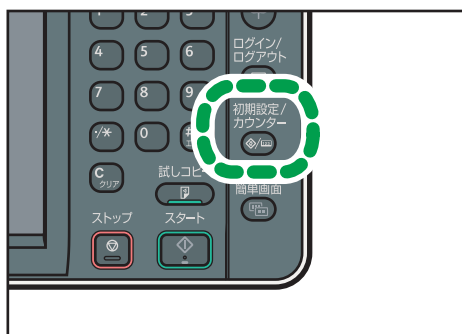
機械修理

- 連絡先電話番号
- 機械番号

営業窓口

- 連絡先電話番号

「電話番号」はサービス実施店が登録します。

1. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

CJR003

2. ［問い合わせ情報］を押します。
3. 問い合わせ情報を印刷するときは、［連絡先一覧印刷］を押します。
4. ［スタート］キーを押します。
5. ［初期設定/カウンター］キーを押します。

[状態確認] キーを使用して問い合わせ情報を確認する

[問い合わせ情報] タブでは次の項目が確認できます。

- 機械修理

  本機を修理するために必要な機械番号と連絡先の電話番号がわかります。

- 営業窓口

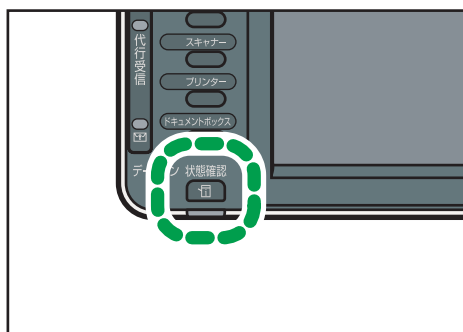
  営業窓口の電話番号がわかります。

- 消耗品発注先

  本機で使用している消耗品を発注する電話番号がわかります。

- 消耗品名称

  本機で使用しているトナー、ステープラーの針などの名称がわかります。

1. [状態確認] キーを押します。

2. [保守/問い合わせ/機器情報] タブを押します。
3. [問い合わせ情報] を押します。
4. 確認後、[閉じる] を押します。

6. 仕様一覧

本体とオプションの仕様について説明します。

本体仕様

形式

コンソール型

CPU

Intel® Celeron® M 600MHz

メモリー

- imagio MP W4001PN/W4001/W4001F：1GB
- imagio MP W4001SP/W4001SPF：2GB

感光体種類

OPC ドラム

複写方式

乾式静電転写方式

現像方式

- 黒：乾式 2 成分現像方式
- 赤：乾式 1 成分現像方式

定着方式

ヒートロール方式

原稿台方式

固定式

原稿読み取り方式

CCD による一次元固体走査方式

ウォームアップタイム（温度 23℃、定格電圧）

- imagio MP W4001PN/W4001/W4001F：60 秒（赤現像ユニット装着時は 90 秒）
- imagio MP W4001SP/W4001SPF：90 秒

ファーストコピータイム（A4▯）

5.3 秒

連続複写速度（毎分）

40 枚（A4▯）

最大原稿サイズ

A2（420×594mm）、17×22（432×559mm）

複写原稿

シート、ブック原稿、立体物

複写サイズ

- トレイ 1〜2

  A3、A4、A5、B4、B5、11×17、8$^1/_2$×14、8$^1/_2$×13、8$^1/_2$×11、8$^1/_4$×14、8$^1/_4$×13、8×13、8×10$^1/_2$、8×10、7$^1/_4$×10$^1/_2$、5$^1/_2$×8$^1/_2$、11×15、11×14、10×15、10×14

- トレイ 3〜5

  A2、A3、A4、B3、B4、B5、11×17、8$^1/_2$×14、8$^1/_2$×13、8$^1/_2$×11、11×14、17×22

- トレイ 3〜5（不定形サイズ）
  - タテ：257.0〜420.0mm
  - ヨコ：182.0〜594.0mm

  トレイ 3〜5 で不定形サイズを使用するときは、サービス実施店に問い合わせてください。

- 手差しトレイ

  A2、A3、A4、A5、A6、B3、B4、B5、B6、11×17、8$^1/_2$×14、8$^1/_2$×13、8$^1/_2$×11、8$^1/_4$×14、8$^1/_4$×13、8×13、8×10$^1/_2$、8×10、7$^1/_4$×10$^1/_2$、5$^1/_2$×8$^1/_2$、郵便ハガキ、往復ハガキ、8K、16K、11×15、11×14、10×15、10×14、17×22

- 手差しトレイ（不定形サイズ）
  - タテ：100.0〜432.0mm
  - ヨコ：128.0〜594.0mm

- 両面

  A3、A4、A5、B4、B5、11×17、8$^1/_2$×14、8$^1/_2$×13、8$^1/_2$×11、8$^1/_4$×14、8$^1/_4$×13、5$^1/_2$×8$^1/_2$、11×14

用紙紙厚

- トレイ 1〜5：52〜105g/m^2（45〜90kg）
- 手差しトレイ：52〜157g/m^2（45〜135kg）
- 両面：64〜105g/m^2（55〜90kg）

画像欠け幅（コピー時）

- 先端：3.0±2.0mm
- 左：2.0±2.0mm

- 右：2.0±2.0mm
- 後端：2.0±2.0mm

複写倍率（固定）

4.00、2.00、1.41、1.22、1.15、0.87、0.82、0.71、0.61、0.50、0.25

倍率誤差

- 等倍：縦横±0.5%以下
- 定形変倍（61%以上）：縦横±0.5%以下
- 定形変倍（50%以下）：縦横±0.7%以下

複写倍率（ズーム）

25～400%（1%単位の任意選択）

倍率誤差：縦横±1.0%以下

解像度（読取時）

600×600dpi

解像度（書込時）

600×600dpi

階調

256 階調

給紙方式/給紙容量

550 枚×2 段＋ 250 枚×3 段＋ 50 枚（手差しトレイ）

（マイペーパーのとき）

連続複写枚数

1～999 枚

使用電源

100V、15A、50/60Hz

最大消費電力

1,500W

大きさ

- imagio MP W4001PN（幅×奥行き×原稿カバーまでの高さ）：780×865×1,098mm
- imagio MP W4001/W4001F/W4001SP/W4001SPF（幅×奥行き×自動原稿送り装置（ADF）までの高さ）：799×865×1,257mm

機械占有寸法（幅×奥行き）

- imagio MP W4001PN：780×865mm
- imagio MP W4001/W4001F/W4001SP/W4001SPF：799×865mm

質量

- imagio MP W4001PN：188kg 以下
- imagio MP W4001：216kg 以下
- imagio MP W4001F：220kg 以下
- imagio MP W4001SP：218kg 以下
- imagio MP W4001SPF：221kg 以下

レーザ規格

レーザークラス 1（本製品は JIS C6802:2005「レーザー製品の安全基準」に基づき、"クラス 1 レーザ製品"に該当します。）

ドキュメントボックスの仕様

ドキュメントボックス用容量

約 51GB

最大：3,000 ページ（蓄積機能全体で蓄積できるページ）

コピー/A4 原稿のとき：約 3,000 ページ

プリンター/A4/600dpi 1bit のとき：約 3,000 ページ

スキャナー/A4 のとき：約 1,000 ページ

（プリンター・スキャナー蓄積のときは、印刷画像・原稿による）

ドキュメントボックス文書管理数

最大 3,000 文書

メモリーソートできる枚数

最大 1,000 ページ

コピー/A4 原稿のとき：約 1,000 ページ

プリンター/A4/600dpi 1bit のとき：約 1,000 ページ

（プリンターソートのときは、印刷画像による）

ファクス機能の仕様

ファクス送受信仕様

形式

デスクトップ型トランシーバー

規格

G3 規格、G4 規格

メモリー

4MB（FAX メモリー装着時：最大 28MB）

適用回線

アナログ：加入電話回線（PSTN）、自営構内回線（PBX）、F ネット（G3 サービス）

デジタル：INS ネット 64、F ネット（G4 サービス）、デジタル交換内線（基本インターフェース）

6

最大回線数

G3×2 回線＋ G4×1 回線または、G3×3 回線

接続方法

ダイレクトカプル

走査線密度

G3：8×3.85 本/mm（ふつう字）、8×7.7 本/mm（小さな字）、8×15.4 本/mm、16×15.4 本/mm（微細字）

G4：200×100dpi（ふつう字）、200×200dpi（小さな字）、400×400dpi（微細字）

記録紙サイズ

A2～A5、17×22～$5^{1}/_{2}\times8^{1}/_{2}$

電送時間

G3：3 秒台（JBIG 通信時：2 秒台）[*1]

G4：3 秒台[*1]

走査方式

平面走査

符号化方式

MH、MR、MMR、JBIG（G3 のとき）

変調方式

メッセージモデム：V.34 V.17 V.29 V.27ter（G3）

プロトコルモデム：V.21（G3） V.8

最大送信原稿サイズ

定形：A2▭または 17×22▭

不定形（タテ×ヨコ）：432×594mm

記録方式

乾式 2 成分現像方式

相互通信

G3：PSTN、PBX、INS ネット 64

G4：INS ネット 64

通信速度

G3：33.6K/31.2K/28.8K/26.4K/24.0K/21.6K/19.2K/16.8K/14.4K/12.0K/9,600/7,200/4,800/2,400bps（自動シフトダウン方式）

G4：64Kbps/56Kbps（自動速度整合）

直流抵抗値

359Ω

消費電力

直接送信時：約 330W

メモリー送信時：約 320W

メモリー受信時：約 320W

受信文書印刷時：約 415W

最大消費電力（フルシステム時）

1,500W

届出番号（識別番号）

000225（000225ACD12）

本装置は電話回線や地域などの条件によっては、使用できないことがあります。

*1 A4、700 文字程度の原稿を標準画質（G4 は 200dpi×200dpi、G3 は 8×3.85 本/mm）で送ったときの速さです。ただし、G3 は画像情報だけの通信速度で、通信の制御時間は含まれておりません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線状況によって異なります。

補足

- G4 での通信、「細かい字」や「微細字」での通信にはオプションが必要です。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「オプションが必要な機能一覧」を参照してください。

6

インターネットファクス送受信仕様

インターフェース

- 標準

  イーサネット（100BASE-TX、10BASE-T）

- オプション

  ギガビットイーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）

  IEEE802.11a/b/g（無線 LAN）

伝送機能

電子メール

伝送制御手順

- 電子メール送信

  SMTP 手順、TCP/IP 通信

- 電子メール受信

  POP3 手順、SMTP 手順、IMAP4 手順、TCP/IP 通信

通信モード

シンプルモード、フルモード

走査線密度

200×100dpi（ふつう字）、200×200dpi（小さな字）、200×400dpi（細かい字）*1、400×400dpi（微細字）*1

原稿サイズ：検知できる縦の長さ

297mm（A3）*1、257mm（B4）*1、210mm（A4）

電子メール形式

シングル/マルチパート、MIME 変換

添付ファイル形式：TIFF-F（MH、MR*1、MMR*1 圧縮）

交信できる機種

W-NET FAX 対応機種

インターネットとの相互交信

電子メールアドレスを持ったパソコンと電子メールを送受信できます。

認証方法

SMTP-AUTH、POP before SMTP、A-POP

インターネットファクスの暗号化方式（受信文書の転送時）

S/MIME

インターネットファクス送信機能

メールアドレス指定時、送信原稿を自動的に電子メール形式に変換して送信します。

すべてメモリー送信します。

インターネットファクス受信機能

TIFF-F の添付ファイル形式を自動認識して印字出力します。

ひらがな、カタカナ、英数字および第一水準、第二水準漢字のテキストメールの文字を自動認識して印字出力します。

すべてメモリー受信します。

*1 フルモード時

IP-ファクス送受信仕様

インターフェース

- 標準

  イーサネット（100BASE-TX、10BASE-T）

- オプション

  ギガビットイーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）

  IEEE802.11a/b/g（無線 LAN）

伝送制御手順

勧告 T.38、TCP、UDP/IP 通信、SIP（RFC3261 準拠）、H.323 v2

走査線密度

8×3.85 本/mm・200×100dpi（ふつう字）、8×7.7 本/mm・200×200dpi（小さな字）、8×15.4 本/mm（細かい字）、16×15.4 本/mm・400×400dpi（微細字）

最大送信原稿サイズ

定形：A2▭または 17×22▭

不定形（タテ×ヨコ）：432×594mm

最大読取サイズ

- タテ：432mm
- ヨコ：594mm

交信可能機種

IP-ファクス対応機種

IP-ファクス送信機能

IP アドレスを指定し、ネットワークを通して IP-ファクス対応ファクスへのファクスを送信します。SIP サーバーを利用した IP ネットワーク（イントラネット）を使用せずに、NTT の次世代ネットワーク（NGN）網を利用してファクスを送信することもで

きます。また、VoIP ゲートウェイを経由して、一般公衆回線に接続されている G3 ファクスへファクスを送信することもできます。

IP-ファクス受信機能

IP-ファクス対応ファクスから送信されたファクスをネットワークを通して受信します。SIP サーバーを利用した IP ネットワーク（イントラネット）を使用せずに、NTT の次世代ネットワーク（NGN）網を利用してファクスを受信することもできます。また、VoIP ゲートウェイを経由して、電話回線に接続されている G3 ファクスからファクスを受信することもできます。

認証番号

M0001005

メール送受信／フォルダー送信仕様

インターフェース

- 標準

  イーサネット（100BASE-TX、10BASE-T）

- オプション

  ギガビットイーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）

  IEEE802.11a/b/g（無線 LAN）

メール送受信時の対応プロトコル

- 送信

  SMTP 手順、TCP/IP 通信

- 受信（Mail to Print）

  POP3 手順、SMTP 手順、IMAP4 手順、TCP/IP 通信

フォルダー送信時の対応プロトコル

SMB、FTP、NCP、TCP/IP 通信

走査線密度

200×100dpi（ふつう字）*1、200×200dpi（小さな字）、400×400dpi（微細字）

最大送信原稿サイズ

定形：A2▭または 17×22▭

不定形（タテ×ヨコ）：432×594mm

最大読取サイズ

- タテ：432mm
- ヨコ：594mm

電子メール形式

シングル/マルチパート、MIME 変換

ファイル形式

- 送信

  TIFF（MH、MR、MMR 圧縮）、PDF、PDF/A

  ファイル形式として［PDF］または［PDF/A］を選択したときは、電子証明を付けられます。詳しくは、『ファクス』「ファイル形式を設定する」を参照してください。

- 受信（Mail to Print）

  JPEG（JFIF）、PDF

メールの認証方法

SMTP-AUTH、POP before SMTP、A-POP

メールの暗号化方式

S/MIME

メール送信機能

メールアドレス指定時、送信原稿を自動的に電子メール形式に変換して送信します。

メール受信機能

JPEG、PDF の添付ファイル形式を自動認識して出力します。

フォルダー送信機能

共有フォルダー、FTP サーバーのフォルダー、NetWare のフォルダーを宛先として指定し、読み取った文書をネットワーク経由で送信します。

*1 TIFF 形式のファイル送信時

プリンター機能の仕様

形式

内蔵型

プリントサイズ

- 定形：

  最大 A2▭（420×594mm）、17×22▭（432×559mm）

- 不定形：

  最大 432.0×594.0mm（手差しトレイ）

連続プリント速度（A4▯）

40 枚/分

解像度

600dpi

ページ記述言語

- 標準：

  RPCS、PDF

- オプション：

  Adobe PostScript 3

エミュレーション

RTIFF、RP-GL、RP-GL/2

インターフェース

- 標準：

  イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T）

  操作部の USB2.0 ポート（A タイプ）

  USB2.0 ポート（B タイプ）

  SD カードスロット

- オプション：

  ギガビットイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）

  IEEE1284 準拠双方向パラレル

  IEEE 802.11a/b/g（無線 LAN）

  Bluetooth

プロトコル

- 標準：

  TCP/IP（IPv4、IPv6）、LPR、RSH、RCP、DIPRINT、FTP、IPP、SMB、IPP-SSL

- オプション：

  AppleTalk、IPX/SPX（NetWare）

USB インターフェース（標準）

- 対応 OS：

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2、Mac OS 10.3.3 以降

- 通信方式：

  USB2.0 規格に対応

- 接続方式：

  USB2.0 規格に対応したデバイス

対応 OS

- 標準：

  Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2

- オプション：

  Mac OS X 10.2 以降

内蔵フォント

- 標準：

  明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク

  平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、欧文 136 書体（PDF ダイレクトプリント用）

- オプション：

  HG 明朝 L、HG ゴシック B（PostScript 3、PDF ダイレクトプリント用）

変倍率

25～400%

補足

- Macintosh では本機標準の USB ポートだけに対応しています。Mac OS 10.3.3 以降のサポート速度は USB2.0 相当です。

スキャナー機能の仕様

形式

フルカラースキャナー

原稿読み取り方式

原稿台固定平面走査方式

イメージセンサーの種類

CCD イメージセンサー

複写原稿

シート、ブック原稿、立体物

読み取り可能な原稿サイズ

縦（10～432mm）×横（10～594mm）

原稿ガラスセット時に自動検知可能な原稿サイズ

A2、B3、A3、B4、A4、B5、A5

自動原稿送り装置（ADF）セット時に自動検知できる原稿サイズ

A2、B3、A3、B4、A4、B5、A5、B6、11×17、8$^{1}/_{2}$×11、11×15

原稿読み取り速度

メール送信/フォルダー送信/ネットワーク配信スキャナー使用時（原稿サイズ：A4（）、解像度：200dpi、片面読み取り時）の原稿読み取り速度は以下のとおりです。

白黒：40 枚/分

（原稿種類：文字・図表、圧縮設定（MH）：圧縮する、ITU-T No.1 チャート）

フルカラー：40 枚/分

（原稿種類：文字・写真、圧縮設定（グレースケール/フルカラー）：圧縮レベル初期値（JPEG 標準）、当社チャート）

本機の動作状況や PC の使用環境、読み取り条件、原稿の内容によって読み取り速度が異なることがあります。

階調

- モノクロ：2 階調
- フルカラー/グレースケール：256 階調

基本読み取り解像度

200dpi

白黒 2 値のときの画像圧縮形式

TIFF（MH、MR、MMR、JBIG2）

グレースケール/フルカラーのときの画像圧縮形式

JPEG

インターフェース

- 標準：

  イーサネット（100BASE-TX、10BASE-T）

  操作部の USB2.0 ポート（A タイプ）

  SD カードスロット

- オプション：

  ギガビットイーサネット（1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T）

  IEEE 802.11a/b/g（無線 LAN）

ネットワーク接続時の使用プロトコル

TCP/IP

メール送信時の読取解像度

100dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

メール送信時の対応プロトコル

SMTP

メール送信時の出力フォーマット

TIFF、JPEG、PDF、高圧縮 PDF、PDF/A

ファイル形式として［PDF］、［高圧縮 PDF］、または［PDF/A］を選択したときは、電子証明を付けられます。［PDF］または［高圧縮 PDF］には、セキュリティーを設定することもできます。詳しくは、『スキャナー』「PDF ファイルにデジタル署名を設定する」、「PDF ファイルにセキュリティーを設定する」を参照してください。

フォルダー送信時の読取解像度

100dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

フォルダー送信時の対応プロトコル

SMB、FTP、NCP

フォルダー送信時の出力フォーマット

TIFF、JPEG、PDF、高圧縮 PDF、PDF/A

ファイル形式として［PDF］、［高圧縮 PDF］、または［PDF/A］を選択したときは、電子証明を付けられます。［PDF］または［高圧縮 PDF］には、セキュリティーを設定することもできます。詳しくは、『スキャナー』「PDF ファイルにデジタル署名を設定する」、「PDF ファイルにセキュリティーを設定する」を参照してください。

ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の読取解像度

100～1200dpi

ネットワーク TWAIN スキャナー使用時の対応プロトコル

TCP/IP

ネットワーク TWAIN スキャナーの対応 OS

Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2

（64bitOS に対応しておりますが、64bit アプリケーションでは使用できません。32bit アプリケーションでご使用下さい。また、この場合、IC カード認証は未サポートとなります。）

ネットワーク配信時の読取解像度（主走査×副走査）

100dpi、200dpi、300dpi、400dpi、600dpi

ブラウザー機能の仕様

本機が対応しているマークアップ言語のバージョンは、次のとおりです。

マークアップ言語	バージョン
HTML	HTML4.01（XHTML1.0）
CSS	CSS1.0、CSS2.0 の一部
ECMAScript	ECMAScript 3rd Edition（JavaScript1.5 サブセット相当）
DOM	DOM Level 1、DOM Level 2 および Dynamic HTML の一部

本機が対応している画像フォーマットの種類は、次のとおりです。

画像フォーマット	種類
GIF	GIF-87a、GIF-89a、アニメーション GIF
JPEG	ベースライン、プログレッシブ
PNG	インターレース表示、α ブレンディング、ガンマ補正を含む
BMP	Windows BMP

自動原稿送り装置（ADF）の仕様

モード

原稿サイズ（不定形）指定機能、大量原稿機能、SADF 機能、サイズ混載機能、原稿セット方向機能

原稿サイズ

- 片面原稿

  A2〜B6、11×17〜$8^1/_2$×11、タテ 128〜432mm、ヨコ 148〜594mm

- 両面原稿

  A3〜A5、11×17〜$8^1/_2$×11、タテ 148〜420mm、ヨコ 148〜432mm

原稿紙厚

- 片面時：40〜128g/m^2（35〜110kg）
- 両面時：52〜105g/m^2（45〜90kg）

原稿積載枚数

- A3以下：50 枚
- A3を超えるサイズ：30 枚

（マイペーパーのとき）

最大消費電力

75W 以下（電源は本体から供給）

大きさ（幅×奥行き×高さ）

790×652×205mm

質量

24kg 以下

フィニッシャーの仕様

フィニッシャー・上トレイの収納可能サイズ

A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯、11×14▭

フィニッシャー・上トレイの収納可能枚数

- A4、8$^{1}/_{2}$×11 以下：250 枚
- B4、8$^{1}/_{2}$×14 以上：50 枚

（マイペーパーのとき）

フィニッシャー・上トレイの用紙紙厚

64～105g/m^{2}（55～90kg）

フィニッシャー・シフトトレイの収納可能サイズ

A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯、11×14▭

フィニッシャー・シフトトレイの収納可能枚数

- A4▯、8$^{1}/_{2}$×11▯：2,000 枚
- A3▭、B4▭、A4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×11▭：1,000 枚
- A5▯：500 枚
- 5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯：100 枚

（マイペーパーのとき）

フィニッシャー・シフトトレイの用紙紙厚（ステープルなし）

64～105g/m^{2}（55～90kg）

フィニッシャー・シフトトレイのシフト動作可能サイズ

A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯、11×14▭

フィニッシャー・シフトトレイでシフト動作できる用紙紙厚

64～105g/m^{2}（55～90kg）

ステープル可能なサイズ

A3▭、A4▯▭、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、11×14▭

ステープル可能な枚数

- A3▭、B4▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、11×14▭：30 枚
- A4▯▭、B5▯▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭：50 枚
- サイズ混載時：30 枚（A3▭/A4▯、B4▭/B5▯、11×17▭/8$^{1}/_{2}$×11▯）

6

（マイペーパーのとき）

ステープル後の収納部数

- A4▯、8$^{1}/_{2}$×11▯：2～12 枚とじ…150 部、13～50 枚とじ…150～40 部
- A4▭、B5▯▭、8$^{1}/_{2}$×11▭：10～50 枚とじ…100～20 部、2～9 枚とじ…100 部
- その他の用紙サイズ：10～30 枚とじ…100～33 部、2～9 枚とじ…100 部
- サイズ混載時：2～30 枚とじ…50 部

（マイペーパーのとき）

ステープル可能な用紙紙厚

64～90g/m^2（55～77kg）

ステープルのとじ位置

奥、手前、奥斜め、左 2 カ所、上 2 カ所、中とじ

中とじステープル可能な枚数

15 枚（マイペーパーのとき）

中とじステープル可能なサイズ

A3▭、A4▭、B4▭、B5▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×11▭

中とじステープル後の収納部数

2～5 枚とじ：約 30 部、6～10 枚とじ：約 15 部、11～15 枚とじ：約 10 部

（用紙種類など使用条件により、収納可能枚数は異なります。）

中とじステープル可能な用紙紙厚

64～90g/m^2（55～77kg）

中とじステープルの位置

用紙センター 2 カ所

中とじステープルの折り位置

センター

パンチ可能なサイズ

A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯、11×14▭

パンチ可能な用紙紙厚

64～105g/m^2（55～90kg）

パンチ位置

2 穴

最大消費電力

96W 以下（電源は本体から供給）

大きさ（幅×奥行き×高さ）

657×613×960mm

質量

65kg 以下

左トレイの仕様

収納可能サイズ

A2、A3、A4、A5、A6、B3、B4、B5、B6、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×14、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、8×$10^{1}/_{2}$、8×10、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、郵便ハガキ、往復ハガキ、8K、16K、11×15、11×14、10×15、10×14、17×22、不定形サイズ

収納可能枚数

- A2、B3、17×22：20 枚
- A3、11×17：100 枚
- B4 以下：250 枚

（マイペーパーのとき）

用紙紙厚

52〜157g/m^2（45〜135kg）

大きさ（幅×奥行き×高さ）

435×430×40mm

質量

11kg 以下

6

本体上トレイの仕様

収納可能サイズ

A2、A3、A4、A5、A6、B3、B4、B5、B6、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×13、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×14、$8^{1}/_{4}$×13、8×13、8×$10^{1}/_{2}$、8×10、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、郵便ハガキ、往復ハガキ、8K、16K、11×15、11×14、10×15、10×14、17×22

収納可能枚数

- A3 以下：100 枚
- A3 を超えるサイズ：50 枚

（マイペーパーのとき）

用紙紙厚

64～105g/m^2（55～90kg）

大きさ（幅×奥行き×高さ）

- トレイ部：595×545×80mm
- 排紙部：180×535×190mm

質量

- トレイ部：2kg 以下
- 排紙部：2kg 以下

6

中継ユニットの仕様

大きさ（幅×奥行き×高さ）

430×120×135mm

質量

1kg 以下

両面ユニットの仕様

用紙紙厚

64〜105g/m^2（55〜90kg）

用紙サイズ

A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×13▭、8$^{1}/_{2}$×11▯▭、8$^{1}/_{4}$×14▭、8$^{1}/_{4}$×13▭、5$^{1}/_{2}$×8$^{1}/_{2}$▯、11×14▭

質量

7.5kg 以下

6

赤現像ユニットの仕様

大きさ（幅×奥行き×高さ）

140×580×60mm

質量

1.5kg 以下（トナーなし）

拡張 1284 ボードの仕様

通信方式

IEEE 1284 規格に対応

接続方式

IEEE 1284 規格に対応したデバイス

推奨ケーブル：リコー LP インターフェースケーブル タイプ 4B

- 拡張 1284 ボードとの接続には、ハーフピッチ用の変換コネクターを使用してください。

拡張無線 LAN ボードの仕様

インターフェース

IEEE 802.11a/b/g 準拠（W52/W53）、Wi-Fi 準拠

伝送方式

- 802.11a：直交周波数分割多重（OFDM）方式
- 802.11b：直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式
- 802.11g：直交周波数分割多重（OFDM）方式＋直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式

すべての方式は単信（半二重）

伝送速度

- 802.11a：6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps
- 802.11b：1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps
- 802.11g：1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、6Mbps、9Mbps、11Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps

周波数範囲（中心周波数表示）

- 802.11a：5180MHz〜5320MHz（20MHz 間隔 8 波　W52、W53）
- 802.11b：2412MHz〜2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz
- 802.11g：2412MHz〜2472MHz（5MHz 間隔 13 波）

※無線 LAN に記載されているマークについて

BAU043S

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF：DS-SS 方式および OF-DM 方式を示します。
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth オプションの仕様

対応バージョン

Bluetooth Ver2.0＋EDR

USB インターフェース

USB 1.1

対応プロファイル

SPP（Serial Port Profile）

HCRP（Hardcopy Cable Replacement Profile）

BIP（Basic Imaging Profile）

周波数範囲

2400〜2483.5MHz

伝送方式

周波数ホッピングスペクトラム拡散（FHSS）方式

伝送速度

非対称型通信時：約 2.1Mbps（最大）

対称型通信時：約 1.3Mbps（最大）

伝送速度は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、使用する Bluetooth 機器などにより異なります。

※Bluetooth オプションに記載されているマークについて

CHA017

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- FH：FH-SS 方式を示します。
- 8：想定される干渉距離が 80m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

拡張ギガビットイーサネットボードの仕様

インターフェース

イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T）

伝送速度

10Mbps、100Mbps、1,000Mbps

ケーブルの長さ

100m

消耗品一覧

ステープラーの針

名称	規格	販売単位
リコー PPC ステープラー針 タイプ K*1	5,000 針	1 箱（5,000 針×3 個）
リコー PPC ステープラー針 タイプ L*2	2,000 針	1 箱（2,000 針×4 個）
リコー PPC ステープラーカートリッジ タイプ 2*3	カートリッジ	1 個（5,000 針セット済み）
リコー PPC ステープラーカートリッジ タイプ 3*4	カートリッジ	1 個（2,000 針セット済み）

*1 フィニッシャーの端とじ用詰め替え針です。カートリッジは含まれておりません。

*2 フィニッシャーの中とじ用詰め替え針です。カートリッジは含まれておりません。

*3 フィニッシャーの端とじ用カートリッジです。フィニッシャー本体には、1 カートリッジ分が装着されています。

*4 フィニッシャーの中とじ用カートリッジです。フィニッシャー本体には、2 カートリッジ分が装着されています。

トナー

名称	色	販売単位
imagio トナータイプ 29W ブラック	ブラック	1 本
imagio トナータイプ 3 レッド	レッド（赤）	1 個

済スタンプ用カートリッジ

1 個あたり約 3000 回スタンプを押すことができます。

名称	色	販売単位
リファクススタンプカートリッジ タイプ 1	ピンク	1 ケース（4 個）

補足

- 本機では、グリーン購入法適合用紙「マイリサイクルペーパー 100」が使用できます。
- その他、各種用紙の情報については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp/imagio/support/supply/）を確認するか、営業担当者に問い合わせてください。

おもな付属品一覧

- 使用説明書入れ
- 使用説明書・ユーザーガイド
- はじめにお読みください
- CD-ROM
- 記入シール（消耗品の注文先、機械修理の連絡先）
- マイバンク&QA 登録票
- スタートカウンター確認シート

補足

- PDF と HTML の使用説明書は付属の CD-ROM に格納されています。

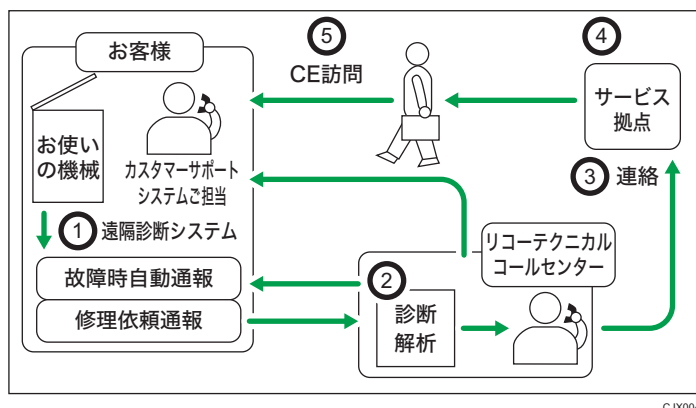
7. お問い合わせ

リモート管理サービス、保守サービス契約、お問い合わせ先について説明します。

リモート管理サービスを利用する

機械が故障したり、修理を依頼したいときにリコーテクニカルコールセンターへ通報します。

重要

- 「センターに自動通報できませんでした」と表示されているときやリコーテクニカルコールセンターから連絡がこないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 本機を移動するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。

通報には次の3種類があります。

故障時自動通報（SC／サービスコール）

機械の自己診断機能で故障を検知したときに自動通報されます。

修理依頼通報（MC／マニュアルコール）

コピーがきれいにとれない、頻繁に用紙がつまる、用紙を取り除いても紙づまり表示が消えないときなどに、複写機のキーを操作して通報します。

修理依頼通報（画面の表示）

次のときは、修理依頼通報画面が表示され、［通報］を押すことによって、リコーテクニカルコールセンターに自動通報できます。

- 頻繁に用紙がつまる。
- 用紙がつまった状態でドアやカバーが開いたまま一定時間放置された。

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラス使用時にかかわらず、用紙がつまった状態で一定時間放置されると警告音が鳴ります。

- リコーテクニカルコールセンターでの修理依頼受け付け時間は、9:00～18:00 です。ただし、日曜、祝日、年末年始は除きます。
- お客様のファクス通信（送信時）や電話での通話が優先されるため、リコーテクニカルコールセンターへの通報が遅れたり、通報できないことがあります。
- 通報受信後、リコーテクニカルコールセンターからご担当者へ受信確認の連絡をいたします。お客様のカスタマーサポートセンターご担当者名を事前に販売店またはサービス実施店に連絡してください。ご担当者が代わられたときも同様に連絡してください。

故障時自動通報（SC／サービスコール）

リコーテクニカルコールセンターへ故障情報が自動通報されます。

補足

- 通常コピー時に「故障時自動通報」というメッセージが表示されることがあります。このとき画面の［確認］を押すと通常の操作画面に戻りますが、故障しているユニットを使用するコピーはできません。

修理依頼通報（MC／マニュアルコール）

1. ［リセット］キーを押します。
2. テンキーで［0］を 2 回押します。
3. ［クリア/ストップ］キーを 3 秒間押し続けます。
4. ［通報］を押します。

補足

- 通報したあと、通常の操作画面に戻すときは［終了］を押します。

リモート管理サービス用アダプター

リモート管理サービスを利用するときに必要なアダプターです。

プリンター機能/スキャナー機能を搭載している機種は、インターネット（常時接続）でリモート管理サービスを運用する機能があらかじめ機械本体に搭載されているので、アダプターを設置しないで運用することもできます。ただし、お客様の環境によっては、アダプターを設置することがあります。

保守サービス契約

本機をお買い上げいただく際にリコー保守サービス契約にご契約いただきます。

保守サービス内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにおたずねください。

なお保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機の製造中止後 7 年間です。

機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱いについて

本機をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏洩する危険を未然に防止する必要があります。未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理を行うことが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は以下になります。

- コピーやファクスの入出力動作のために一時的に作成される画像データ
- 任意に HDD へ保存された蓄積文書
- アドレス帳
- 各種設定情報 他

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

リコーでは、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、リコーではない第三者にご返却、お預けされるときには、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

また、リコーでは以下の有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いします。

サービス・機能と概要

サービス名称	概要
OA 機器廃棄証明発行サービス	機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。
OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス	回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。
オンサイトによる HDD 取り外し・キズ入れサービス	カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。 リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前に同意を得る必要があります。

- 他社製品に対する上記サービスは実施していません。

- 地域や機種により対応サービスが異なるときがあります。詳細はコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、本機はデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。詳しくは『セキュリティーガイド』「ハードディスクのデータを上書き消去する」、「機器のデータを暗号化する」を参照してください。

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-3777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0917 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9 時～12 時、13 時～17 時　（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

8. 付録

商標について説明します。

商標

Adobe、Acrobat、Flash、PageMaker、PostScript、PostScript 3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac OS、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Autodesk、AutoCAD、AutoCAD LT は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG,Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Citrix、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は Citrix Systems, Inc.の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。

Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Intel および Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

IPX、IPX/SPX、NCP、NetWare は Novell, Inc.の米国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

「データコネクト」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

NTT グループ各社の総称を NTT と表記しています。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。

  Microsoft® Internet Explorer® 6

  Windows® Internet Explorer® 7

  Windows® Internet Explorer® 8

- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 2000 Professional

  Microsoft® Windows® 2000 Server

  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Professional
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition
  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Vista® Ultimate
  Microsoft® Windows Vista® Business
  Microsoft® Windows Vista® Home Premium
  Microsoft® Windows Vista® Home Basic
  Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 7 Home Premium
  Microsoft® Windows® 7 Professional
  Microsoft® Windows® 7 Ultimate
  Microsoft® Windows® 7 Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。